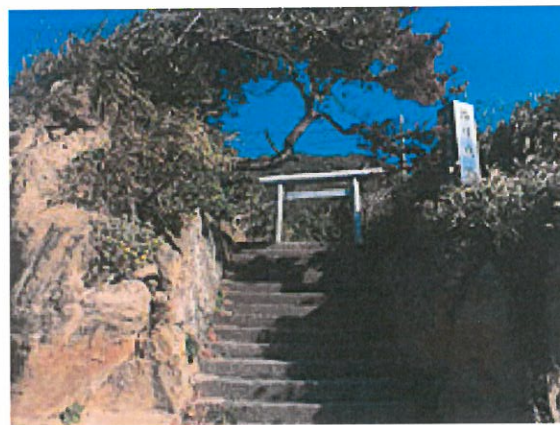


勝浦ロータリークラブ週報

NO12号 通算 2419回 (2014~15年)

平成 26年 10月 10日発行 (10月3日の例会報告)

八幡岬の先端三方海に臨んだ断崖に勝浦城址があります。築城時期については様々な伝承がありますが、城郭の形態をなしたのは、正木時忠からではないかと考えられます。それ以前は真里谷武田氏の出城か砦であったと考えられます。正木時忠がいつ侵攻してきたのかは不明ですがおおよそ天文8年(1539年)から天文10年(1541年)にかけてではないかと考えられています。正木氏は時忠から時通・頼忠と続きますが天正18年(1590年)小田原落城により関東が徳川家康の支配下に置かれるとほとんど植村泰忠に接收されることとなります。現在、郭内、木戸脇、内宿、二のくら(廊)、三のくらなどの地名は残っていますが廓跡も八幡岬公園として生まれ変わり、お万の方の銅像が青い太平洋を見つめています。



LIGHT UP ROTARY~ロータリーに輝きを~

2014~15年度 国際ロータリーRI会長 ゲイリーCKホァン

第2790地区ガバナー宇佐見 透 第5分区ガバナー補佐 望月 眞

地区委員 川名光俊(会員増強・退会防止副委員・館山) 伊藤正人(R財団・鴨川) 関一憲(R財団・勝浦)

勝浦RC会長: 中村 満 幹事: 渡邊 ヒロ子 例会場: 東急ハグエストクラブ 勝浦

事務局: 〒298-0124 勝浦市墨名 801-11 Tel: 0470-73-4659 Fax: 0470-73-0759

クラブ会報委員長: 関 一憲 副委員長: 神村 彰男 委員: 渡邊 昌俊

今後のプログラム予定

10/17 安藤三佐夫氏卓話 10/24 ホセ・ゴンザレス君 米山学友卓話
10/31 水野敬泰君卓話 11/7 関一憲地区R財団補助金小委員長卓話

本日のプログラム 土屋利夫地区職業奉仕委員長卓話

会長挨拶 中村 満君

皆さんこんにちは。本日はロータリークラブで最重要行事であります、ガバナー公式訪問ということで、宇佐見ガバナーにお越しいただきました。また望月ガバナー補佐に於かれましては、ガバナー補佐公式訪問に続いてのご来会、有難うございます。11時30分からつい先ほどまで行われました宇佐見ガバナーと望月ガバナー補佐、本年度、次年度の会長、幹事を交えた協議では、和やかな雰囲気の中で、ガバナーより貴重なご意見を頂戴し、すばらしいお時間を頂戴しましたことに感謝申し上げるとともに、今後のクラブ運営に役立てていきたいと思っております。これより宇佐見ガバナーよりアドレスを頂戴した後、記念撮影、クラブ協議会、懇親会と多くの予定がございます。

本日が勝浦ロータリークラブにとって有意義な一日になることは間違いないとおもいます。

本日はご指導のほど、よろしく願いいたします。



新会員入会式

渡辺一浩君

本日宇佐見ガバナーよりバッジを頂き「頑張ってください」との言葉をいただきました。出来る事から頑張ります。

幹事報告

○11月14日にI・Mが開催されます。

○福島県立盲学校より「しゃくなげ祭」のご案内を頂きました。10月25日9時～

委員会報告

○古川範男国際奉仕委員長○ 福島県立盲学校、ネパール、そして沖津小学校にて後藤みどりさんの音楽祭を開催し成果報告したいと思います。次回理事会にて図ります。

○吉田理愛社会奉仕委員長○ 千葉会員がロータリーデーのスナップ写真と手紙を壁に掲載してくれています。

赤い羽根共同募金のご協力も宜しくお願い致します。

ニコニコボックス親睦活動委員長 磯野 武君

★ 本人誕生日

○村石愛二君○ 早いもので61歳。年金申請する年です。宜しくお願いします。

○関一憲君○ 宇佐見ガバナーようこそ勝浦へ。本日会報を3週分配っています。先日ニューヨークとミネソタに行ってきました。お土産のM&Mチョコレートを持ってきました。

宇佐見ガバナー公式訪問卓話

ロータリーデーの旗を持ってきました。一般の方に広く広報していただくことを宜しくお願いします。いつもは車で来るのですが、明日から青森の地区大会に参加する予定です。全国4ヶ所で同時に地区大会が行われます。妻には明日鳥取の地区大会に参加してもらう予定です。そういうわけで、電車で来たら特急がノ宮駅に止まってしまい、タクシーは18000円位という事で関君に乗せてきてもらいました。先程米山の話がありましたが、その方のカウンセラーが実は私でございます。ご縁ですね。

1950年代からロータリーの思想が活発化し、成長を遂げました。社会の隅々まで根をはっています。2000年頃から世界的に経済が不況になり、それに伴いロータリーの力が衰えてきました。かつて日本では毎年34地区×60名のロータリアンが増えてきました。2790地区内には84クラブがありますが、第一ゾーンの最大派閥です。しかし、この14年間でたったの一つのクラブしか誕生していません。この間私たちのクラブは疲弊してしまいました。何が問題だったのでしょうか？かつてDLPというプランをRIは示されました。分区代理を分区の代表者と称しておりました。ガバナーが地区の全ての事を掌握していないのであれば、分区代

理をガバナー補佐として分区のことは見てもらいましょうと変化してきました。

社会奉仕と国際奉仕は同じようなPJを立ち上げ対象が違うだけ、ならばこの二つを一つにして奉仕プロジェクト委員会を一つの柱として立ち上げました。奉仕プロジェクト委員会が立ち上がれば活動出来るのか？そんなことはありません。会員の増強が必要です。だから会員増強委員会を2番目の柱としました。しかし、増強委員会はそんなに簡単に行きません。ロータリーを説明することに問題がありました。なぜ増強が出来ないのか。それは広報が足りないからだと思います。昔は陰徳の美と言われましたが、それは世間の人たちに我々は理解されません。ワールドカップの時のゴミ拾いもそうです。彼らは当たり前のことを当たり前にしただけです。しかし、世界は日本人の道德観を大きく報道しました。ポリオもそうです。私たちは広報があまりにも下手だったのではないのでしょうか。これが3本目の柱。残ったのはクラブの内部、すなわち管理運営部門。これらの4つの柱をもとにそれぞれの責任と役割を遂行することが大切だと思います。これは2000年にRIが打ち出した方針でした。当時、地区はこの重要性をあまり感じていませんでした。そのためCLPという名の元に新たな仕組みが出てきました。そして、混乱しました。だから、私は地区の組織図を諮問委員会に示し、まずはDLPからスタートするという事をお伝えしました。「私たちは変えなければいけないことは早く変えなければいけない」と思っています。そのことを皆様に早くしなければと思ひ、地区大会を先に延ばしてでも公式訪問を早くしなければと考えました。書いたものではダメ。私の肉声でなければ伝わらないと思います。

8月20日広島で土石流の災害がありました。一人1000円お願いしましたが、皆様からはそれを上回る義援金が集まりました。大変ありがとうございました。もうひとつ、地区大会を来年の2月に持っていった都合上、議案の提出期限が2014年12月31日ですが、もし異論があるのであればそれまでに議案提出しなければなりません。皆さまのご意見をRIに提出しようと思っています。かつて2790地区からは1度も提出したことがありません。これはおかしいだろうと思うことがあるのであればぜひ意見をまとめ新しい案を出してほしいと思います。我が地区は第一ゾーンのリーダーです。少なくとも我が地区は1回くらい出してもよいのではと思います。

青出席報告 手塚明宏君

欠席：浅野君 吉野君 北村君 神村君
MU：佐久間君 手塚君 小林君 西川君 塩田君 鈴木亨君

	10/3	9/26	9/19	9/5
会員数	37	37	37	37
出席数	28	22	28	27
欠席数	4	7	4	5
MU	5	8	5	5
出席率	89.19%	81.08%	89.19%	86.49%

公式訪問挨拶「原点回帰」を目指して

国際ロータリー第 2790 地区 2014-15 年度

ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張 RC)

勝浦ロータリークラブの皆様改めましてこんにちは。今年度 2790 地区ガバナー職を務めさせて頂いております宇佐見と申します。所属は千葉幕張ロータリークラブです。

皆様にはいつも御協力賜りありがとうございます。

本日公式訪問させて頂きましたのは、2014-15 年度国際ロータリー会長ゲイリーホアン氏が提唱されましたテーマ「Light Up Rotary」を一刻も早く皆様にお伝えし、今年度方針にもとづきロータリーの目的を推進頂くよう結束頂きたく直接お話しさせて頂こうとの思いで公式訪問させて頂きました。既に 3 月 8 日に開催しましたリーダーセミナー、3 月 29 日に開催しました PETS、そして 4 月 29 日に開催しました地区研修・協議会といういわゆる 3 大セミナーに中村会長、渡邊幹事を初めクラブ指導者である各委員長の方々にご参加頂き、皆様を通じてご理解を頂いたうえで、スタートをされておられると思います。

ガバナーという身に余る職責ではありますが、誠心誠意努力致しますのでご支援ご協力の程お願い申し上げます。

2000 年に RI より地区に対し DLP (ディストリクト・リーダーシップ・プラン) を検討する旨の要請がありました。現在 RI 理事会によりガバナーは地区組織を構成するうえで DLP の構成に準拠したものを確立するよう要請されています。このことは現在会員減少に悩むクラブにとって、少ない会員数の中でどの様にすれば活性化するかを検討したものであります。即ち従来の 4 大奉仕委員会をベースに取り組みもうとすると一人で何役もこなさねばならない現実に突きあたります。そこで思い切った組織改革を考えようと取り組んだのが DLP です。具体的に申せば

- (1) 社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトに関しては全て「奉仕プロジェクト委員会」なる新組織で統括する
- (2) 増強を目的とした会員増強・退会防止委員会を新たに組織し会員選考や職業分類も含めた活動を行う。
- (3) 地域の人々に私たちの活動を具体的にお知らせする広報公共イメージ委員会を新設しロータリーの友委員会や会報委員会ともコラボレートする活動を行う。
- (4) 親睦、出席、プログラムなど運営に関わる委員会は旧来のロータリー情報委員会をクラブ管理・運営委員会と変えこれら全てを統括する。

以上 4 つの常設委員会と呼ばれる組織に大きく変えたのが DLP です。青少年、財団、米山は旧来のままです。このようにする事により少ない会員のクラブでも活性化できるのではとの考えからこれが CLP に繋がればと考えたのはと思います。しかしこれを行うのはあく

までもクラブ自身です。実際の活動はクラブであり会員皆さんが主役なのです。

わたしは先程 R I が DLP を中心にした地区組織検討するよう云われておると申しましたがこの DLP の先に皆さんの CLP があるとお考えください。ここが重要で今まで CLP のみ導入しろと話されても目的が見えなければ解らなくとも当たり前です。ですから今年度はまず地区組織を変え活動内容と目的をはっきり示すことにしました。ロータリーは単年度制ですから来年また従来の地区組織に戻るかも知れません。ですが私は次年度の櫻木エレクトにこのことだけは変えないで欲しいとお願いしております。くどい様ですがガバナーとして、クラブの皆さんの理解を得ながら変革を試みようと考えています。研修リーダーにもお願いし、DLP の確立のもと各クラブでそれぞれ、独自に検討、取り組まれている CLP (クラブリーダーシッププラン) の明確化に繋がればと考えています。この後のクラブ協議会でも CLP の目的と地区における DLP の位置づけから何故、今必要なのかなど、ご意見を伺えればと思っております。

1905 年の発足以来一世紀を越えるロータリー活動には、時代の変化と共に変わった部分もあると思いますが、変わらぬ原点は職業奉仕にあると考えます。私にとってロータリーとは、自らの職業を通しての倫理運動であり地域社会への貢献を基本に根ざすものであると考えます。定款にも「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある」と明記されております。ロータリアンを侍に例えた場合、職業奉仕とは、武士としての象徴を示す刀のような存在と思っております。侍は研鑽を重ね武士となり、帯刀を致しますが但しこの刀は戦(いくさ)の道具では無く、武士としての気構えの象徴です。ロータリアンの持つ刀は、自分を律する気持ち、又は誇りとして、自らの心の中に置いておくべき物でありロータリアンの心に宿る刀はロータリアン同士の厚い信頼関係基づく不可能を可能に変える存在だと思っております。キーワードは「和して同ぜず」です。「和する」すなわち友となり仲間となることは大変すばらしいことであり皆で一緒に取り組み大事を成す事は大切です。しかし同時に、「同ぜず」が大切で「他人の意見に惑わされる事無く、自分の意見をしっかり持たねばならない」と考えます。「自らの職業に基づく人としての信頼回復」と「和して同ぜず」の2つをモットーにロータリーの復活による「原点回帰」を次年度テーマに、皆様の御協力のもと地区運営にあたってゆきたいと思っております。ロータリーは今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆくという考えから、**変わりながら続けてゆく事の大切さ**を、改めて考えて頂きたいと思っております。ロータリアン同士、職業奉仕を心に携えてゆけば、ロータリーは再び新たな羽根を持ち大空に飛び立てる時が来ると確信しております。

会員増強についてホァン会長は新会員を引き付けつけると共に、現会員を維持し、世界で 130 万人への会員拡大を目標にされています。会員増強について、会員数の数字だけにこだわり「数は力なりの原則のもと、会員を増やせ増やせとスローガンが掲げられますとすぐさま反発する形で「質」と「量」の議論が発生します。更に悪いのは、質か量かという命題を並べて、出来ない理由を議論し、やらない理屈を語る事です。増強問題は出来ない

理由を語るマイナス発想ではなく、まずやろうとするプラス発想からのスタートが大切だと思っています。今年度の増強目標は地区に因んで**2790**名とし、各クラブに純増1名をお願いします。**広報公共イメージ活動**でロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催してくださることを願っています。そこで私たちは、社会貢献という共通意識のもと、互いの絆を深め、時間、才能、資金を注いで活動するグループであることを広報下さい。私たちは「行動の人」であり、同じ目的意識を持つ人たちと協力して、地域社会が直面する問題を解決しようと努めていること、同じ様に地域社会のことを考える人びとを見つけたいと願っていることを伝えることが重要と考えます。にもかかわらず、認知度が低いと感じます。ロータリーが何を目的とし、何をしているかを知らなければ、入会しようという人や、協力しようという人がいないのも当然です。確固とした、好ましい公共イメージは、単にロータリーの気高さを高めるだけで無く、それによって奉仕志向の会員が増え、ロータリーの活動をさらにレベルアップする重要な戦略だと思います。**青少年奉仕活動**について地域の方々及び学校教育機関の協力、顧問教師の方々の思い、御父兄の理解が必要で、信頼関係が無ければ成立しません。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ等での四委員会が「ロータリーデー」への参加を通じ、それぞれどの様にして地域社会との融合を保つ参加が可能なのか御検討下さい。未来のロータリアンを育成しましょう。**米山記念奨学会事業**は日本で学ぶ外国人留学生にロータリアン自身による寄付金を財源とした奨学金を支給する事業で、日本独自の特色である「カウンセラー制度」「世話クラブ制度」が重要であると考えます。クラブとして「世話クラブの登録」「カウンセラー登録」を理解いただき、ぜひ米山記念奨学会への寄付目標である通常寄付と特別寄付の合計で一人**15,000**円達成をお願いします。**最後にポリオ撲滅に関して**1979年に始まったポリオ撲滅運動も35年におよぶ活動で、世界で3ヶ国（パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア）を残すのみとなりました。しかし本年5月5日にWHOはカメルーン、シリアなど非常在国からの発症報告に基づき「緊急事態宣言」を出しました。医師団が内戦に巻き込まれるなど予断を許さない状況でもあり国際的連携と取組みが求められています。当地区では毎年1人あたり**25**ドルをお願いしております。